

主な業務の執行状況

	件名	執行状況・経緯	内容
1	各種申請の認可等	<ul style="list-style-type: none"> ・6月6日 経済産業大臣に申請 ・6月30日 経済産業大臣から承認・認可を取得 	<ul style="list-style-type: none"> ・第14回運営委員会の議決等を受け、6月6日、以下を経済産業大臣に申請。 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 平成28年度財務諸表等の承認 ✓ 平成28年度抛出金単価の認可 ✓ 平成29年度予算及び資金計画変更の認可 ・同月30日、経済産業大臣が承認・認可。なお、同日、四国電力、九州電力から抛出金を収納（約144億円）。
2	日本原燃への使用済燃料再処理役務等の委託に関わる事項	<p>①契約履行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月6日 返還ガラス固化体貯蔵管理状況の現地確認 <hr/> <p>②事業変更許可最終補正申請に向けた取組み確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月14日 新規制基準適合性審査の状況、補正申請の提出時期等について日本原燃から聴取 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> －参考－ 6月22日 再処理に関する追加の審査会合開催 7月21日 MOX加工に関する追加の審査会合開催 </div> <hr/> <p>③ガラス固化体貯蔵建屋下部プレナム部の変色に係る最終報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月16日 最終報告書の内容等について日本原燃から聴取 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> －参考－ 6月30日 原子力規制委員会へ報告書提出 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度に英国から受け入れた返還ガラス固化体（132本）について、収納計画が適切に作成されて、運転操作が実施されたこと、また、日々の貯蔵管理（平成28年度末：1,830本）について、設備の運転状況等の点検、冷却性能検査や収納管排気サンプリング（放射性物質モニタリング）が適切に実施されていることを確認。 ・日本原燃から、新規制基準適合性審査の状況について説明を受けるとともに、しゅん工に向けた今後の工事工程等を確認。 ・引き続きしゅん工に向けたスケジュールや取組みについて、工程管理の一環として、都度日本原燃に確認していく。 ・日本原燃から、調査報告書（最終）の内容について説明を受けた。
3	平成29年度第1四半期収入支出の報告	<ul style="list-style-type: none"> ・7月25日 第1四半期の収入支出を経済産業大臣へ報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・財務会計省令第13条に基づき、第1四半期の収入及び支出について、合計残高試算表により経済産業大臣に報告。
4	対外対応等に関わる事項	<ul style="list-style-type: none"> ・5月23日 野辺地町議会原子力エネルギー対策特別委員会に出席 ・7月3日 抛出金単価等の認可事項等及び再処理等事業費を公開 ・7月14日 経済産業省から機構の情報発信の在り方について指導 ・7月18日 青森県政記者会で説明会を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・同町議会の要請により、機構の業務内容やこれまでの取り組みを説明。 ・青森県政記者会でホームページ掲載資料を配付して内容について説明。 ・経済産業大臣の会見を受け、経済産業省から「国民の方々により分かりやすく情報を伝えることができるよう適切に対応するように」との指導。 ・上記指導を受け、ホームページに追加資料を掲載するとともに、再処理等事業費について、青森県政記者会で説明会を実施。